

平成 22 年 3 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社丸千代山岡家  
 代 表 者 名 代表取締役社長 山岡 正  
 ( J A S D A Q ・ コード 3 3 9 9 )  
 問 合 せ 先 経営企画室長 渡部 哲寛  
 T E L 029-896-5800

平成 22 年 1 月期業績予想(非連結)との差異に関するお知らせ

平成 21 年 3 月 13 日付「平成 21 年 1 月期決算短信(非連結)」にて発表いたしました、平成 22 年 1 月期(平成 21 年 2 月 1 日～平成 22 年 1 月 31 日)の業績予想との差異が発生いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 1 月期業績予想との差異

通期(平成 21 年 2 月 1 日～平成 22 年 1 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,719	348	350	150	18,227.10
今回予想 (B)	7,223	370	393	207	25,072.73
増減額 (B) - (A)	△495	22	43	57	6,845.63
増減率 (%)	△6.4	6.5	12.4	38.0	37.6
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 1 月期)	7,033	229	243	118	14,375.11

2. 差異の理由

売上高につきましては、デフレの影響などから個人消費は低迷し、消費者の外出頻度が減少するなど依然として厳しい状況が続く中、新規に 11 店舗(新業態「とんかつ処 かつ千代 つくば店」を含む)を出店したほか、新規顧客・リピーターの獲得を目的とした定期的な期間限定メニューの販売や携帯サイトの活用による販売促進策を実施し、計画達成に向け継続的に取り組んでまいりました。しかしながら、売上高は前回予想を下回り、7,223 百万円(当初予想比 495 百万円の減少)となる見込みであります。

一方、コスト面では、食材ロスの徹底した管理などにより原価率を低減させました。また、電化厨房の既存店導入推進、ワークスケジュール管理による人件費の適正化などを行った結果、販売費及び一般管理費が期初予想を下回りました。

その結果、営業利益は 370 百万円(当初予想比 22 百万円の増加)、経常利益は 393 百万円(当初予想比 43 百万円の増加)となる見込みであります。

当期純利益につきましては、特別損失において、固定資産売却損・除却損など 18 百万円が発生しましたが、207 百万円(当初予想比 57 百万円の増加)となる見込みであります。

なお、平成 22 年 1 月期の配当につきましては、前回発表から変更はありません。

※なお、上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上